≪学習問題≫

234円のジュースを13本買います。全部でいくらでしょう。筆算で計算してみよう。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・12×4＝10×4＋2×4と十進位取り記数法に基づき計算できる等，様々な求め方で計算している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・234を200と30と4のように，100の束と10の束と1に分けてとらえることができる。

○共同追究でのゆさぶり

・誤った筆算のどこをどう直せばよいのか。

○ゆさぶりに対応する経験

・(2位数)×(2位数)の筆算は，それぞれの位の数の部分積の和で求められる学習をしている。

教材研究ノート№3-A-16

≪学習問題≫

≪定着・活用問題≫

主眼

授業計画･実施記録

②見通し：かけられる数が百の位までになったけどどうすればいいんだろう？→　（2位数）×（2位数）の位を分けて行うかけ算や筆算をもとにすればできそうだ。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

②学習課題：(2けた)×(2けた)の筆算の仕方をもとに

　　　　　　２３４×１３の筆算のやり方を考えよう。

③個人追究: (2けた)×(2けた)の筆算の仕方の考え方を生かして，計算のやり方を考える。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「234×13の筆算のやり方を説明しよう」

→「位ごとの計算を後でたせばいい」

④共同追究後半（思考を深める）

「この筆算のどこをどう直したらよいのだろう？」

→「3×2の6は6×100ってことだから6000になるのはおかしい」

「位を間違えないように，１の位から順にやっていった方がいいんだよ」

　２３４

×　　１３

　６１０２

　　２３４

　６３３６

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・(3けた)×(2けた)の筆算のやり方も(2けた)×(2けた)と同じように位ごとかけた数をたせばいいんだ。

・位を間違えないように，１の位から順にやっていった方がいい。

・これなら何桁になってもできそうだ。

⑥定着･活用問題

248×32，206×47を筆算で計算してみよう。

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・（2位数）×（2位数）の筆算やり方が（3位数）×（2位数）でも通用するのか，子どもたちが，今までの筆算の仕組を振り返りながら，筆算のやり方を追究できるようにする。

・誤った筆算方法を提示し，なぜそのやり方ではいけないのか，十進位取り記数法に基づき，それぞれの数字の意味を明らかにしながら，形式的な筆算の理解にならないようにしたい。

【板書計画】